

## 【中東アフリカ IP 情報】ARIPO 第 44 回行政評議会開催

2020 年 11 月 26 日  
ジェトロ・ドバイ事務所

アフリカ広域知的財産機関(ARIPO)は、2020 年 11 月 16－20 日にかけて、第 44 回行政評議会を開催した。ジンバブエ・ハラレの物理的会場と加盟各国をオンラインで結んだハイブリッド形式での開催であった。

開会挨拶において、今年で任期の切れる ARIPO 長官の Fernando dos Santos 氏から、2020 年の ARIPO の成果として、モーリシャスの加盟により ARIPO 加盟国が 20 カ国となったこと、コロナ禍において特許出願、商標出願がそれぞれ 10%、27%減少したのに対して、意匠出願が 9%増加したこと、植物新品種の保護に関するアルーシャ議定書をサントメプリンシペが批准したこと、電子プラットフォームが効率的に運用されており、新規出願の 84%が当該プラットフォームを利用して出願されていることなどが報告された。さらに、Fernando dos Santos 氏の 8 年の任期の成果として、以下の事項が挙げられた。

- モーリシャスとサントメプリンシペの ARIPO 加盟
- ARIPO の電子インフラの更新
- ARIPO 本部の新庁舎建設
- 2つの知財修士課程の創設
- 公衆一般や大学における知財セミナーの開催

本行政評議会では、必要不可欠な 2021 年の予算案や年度計画などの審議・承認を行った。さらに、既報のとおり、次期長官として、ウガンダ出身の Bemanya Twebaze 氏を選出した。また、議定書の改正提案などを議論するために、2021 年半ばに、特別セッションを開催することでも合意した。

－ARIPO の報道発表は、以下参照－

<https://www.aripo.org/the-forty-fourth-session-of-the-administrative-council-of-aripo-concludes-on-a-high-note/>

(了)